

2014/12/01

各党政策担当責任者殿

クルマ社会を問い直す会 世話人代表 杉田正明

交通政策についての質問状への回答のお願い

私どもは1995年に発足した市民団体で、クルマ社会がもたらす諸問題・各種弊害についてその改善を求めて活動してきております。

これまで、衆議院および参議院の選挙に際しましては、各政党に交通政策についての考え方を公開質問という形で数回おたずねして参りました。(同封した当国会報73号に、2013年の参議院選挙に際しての公開質問の結果を掲載しております。)

今回衆議院選挙が行われるのに際しましても、各政党の考え方をおたずねしたいと考えます。

今回は、これまで質問してこなかった項目を中心に、私どもの会が強い関心を持っている領域に限りまして、質問させて頂きますので、ご回答頂きますようお願い申し上げます。

今回ご質問させて頂く項目は、各党におかれまして、党の政策として公式に検討したことがない項目も含まれていると思いますので、回答は必ずしも公式のものではなく、回答者様の党の判断についての予想と言うことで結構でございます。私どもとしては各党様の姿勢・目指す方向をその回答から理解したいと思っております。

お忙しい中、大変恐縮ですが、ご回答頂きますようお願い申し上げます。

尚、かつてながら、選挙前に各党の回答を一般に公表したいと思っておりますので、12月09日までに、同封した返信用封筒にて投函して頂きますようお願い申し上げます。

以上

クルマ社会を問い直す会

URL <http://toinaosu.org>

〒270-0015 千葉県松戸市小金上総町21-24

杉田正明

tel 047-343-6814

e-mail sugita@kstnk.sakura.ne.jp

政党名 社会民主党

回答者名 横田 昌三

回答者役職等 企画局長

回答者連絡先 yokota@sdp.or.jp

(Tel or E-mail)

下記質問項目につき、YESまたはNOでお答えください。(その理由があればお書きください)

【自動車・道路について】

1. 世界の自動車保有台数比較で我が国は米国、中国に続いて世界3位ですが、日本の経済成長のためにさらに台数を増やすべきだと思いますか。環境やエネルギー、公害等とまて。
YES・NO: 理由 公共交通への転換を進めるべきです。
2. 自動車の運転免許人口が7千7百万人を越えています。自動車の国内販売台数を増やすためにもっと免許人口を増やすべきだと思いますか。
YES・NO: 理由 自動車販売のための免許人口増には疑問があります。
3. 我が国の自動車保有者の税負担は諸外国に比べ高いと思いますか。課税の仕方などは正すべき部分はありますか。
YES・NO: 理由 社会的費用を勘案すれば高いとまではいえないと思います。
4. 我が国の道路総延長は世界5位で英国の3倍、面積あたりの道路密度は断トツで世界一です。それでも我が国の道路は不足していると思いますか。個人的には十分だと思いますか。
YES・NO: 理由 地域事情があり、いろいろには答えられません。
5. 我が国の高速道を含む主要幹線道路の延長距離は中国、カナダ、米国、ブラジルに続き5位ですが、それでも高速道路、幹線道路は不足していると思いますか。個人的には十分だと思いますか。
YES・NO: 理由 地域事情があり、いろいろには答えられません。
6. 道路の拡幅整備が商店街を衰退させ、シャッター街を作るという意見に同意しますか。
YES・NO: 理由 公共交通を活用した方がよめいとり反れます。
7. 高速道路の整備がストロー効果で地方の人口を減らすという意見に同意しますか。
YES・NO: 理由 現実にも事例があります。
8. 美しい景観、住環境、自然環境を壊してまで道路整備をしようとする動きがありますが、賛成できますか。
YES・NO: 理由 環境世界課題は大事にしていかなければなりません。

【交通事故削減目標】

9. 平成25年中の全国交通事故発生件数は62万8千件で、交通事故死者数は4千373人、負傷者数は77万9千人でしたが、まだまだ件数が多すぎると感じています。死者ゼロ・負傷者ゼロ達成を目標とするよう働きかけてもらえますか。

YES・NO:理由 交通事故の犠牲者が多くなるように全力で取り組むべきです。

【交通事故関連法改正】

10. 飲酒、危険ドラッグ使用、スピード超過などの危険運転による死亡事故が後を絶ちません。しかしながら危険運転致死傷罪は正常な運転が困難であったことを証明せねばならず、適用要件が難し過ぎるという強い批判があります。法改正してもらえますか。

YES・NO:理由 この主張の通りだと思います。

11. 無免許で運転して死傷事故を起こしても、それまで違法に運転して来た結果として運転が出来ていれば危険運転致死傷罪に問われないというのは、道交法に違反して良いと認めている事になります。法改正してもらえますか。

YES・NO:理由 矛盾があると思います。

12. 道路交通法違反で警官の指示を無視して逃走する行為が目立ちます。逃走した場合の罰則を新たに作り、刑を重くするよう法改正してもらえますか。

YES・NO:理由 逃げ得とならないようにすべきです。

13. 道路交通法では、免許停止になっても講習を受ければ停止期間の短縮が可能とされていますが、この規定はドライバーに有利な減刑です。本来の免許停止の意義を生かすよう講習制度をやめるよう法改正してもらえますか。

YES・NO:理由 講習と受けるも停止期間が短縮されないようにしたいです。

14. 免許更新時、交通法規試験の受験を義務化し、パス出来なければ更新できないようにするよう法改正してもらえますか。

YES・NO:理由 道交法内容をよく法改正し、内容の周知徹底が必須です。

15. 長距離トラックの過労運転が事故を引き起こしています。一日の運転時間の上限を定め、取り締まれるよう法改正してもらえますか。

YES・NO:理由 長距離バスも同様にすべきです。労働者の健康や労働安全を確保するため、自動車運転者の労働時間等の改善のための

16. 自転車の違反と事故が多発しています。自転車についても道路交通法で反則金制度を設けるべきと考えますが法改正してもらえますか。

YES・NO:理由 自転車の罰則を強化すべきです。運転者の啓発に加え、罰則も与えています。

【路面電車について】

反則金制度自体にも問題があり、検討してみたいと思います。

17. 路面電車は排出ガスがなくクリーンで、老人、学生、子供に優しい交通手段だと思いますが、車道を減らして路面電車の復活を計ることを支援してもらえますか。

YES・NO:理由 LRT支援策を提案しています。

【物流について】

18. トラックの運転手が不足しています。問題だと思いますか

YES・NO:理由

少子化などでトラックだけでなく、バスの運転手も人材の
確保・確保するかが大きな問題となっています。

19. トラック輸送から鉄道、船舶、航空にモーダルシフトした方が良いという方針が政府から出
ていますが、賛成しますか。

YES・NO:理由

環境にやさしい交通をつくるべきです。

交通従事者の
確保・確保に
努力します。

ご意見などがあれば、お書きください。

自動車中心ではない、人間中心の
交通政策、道路政策を求めて 社民党も しっかりと参ります。
安全、快適、公平の視点を守り、マイカー依存の車社会から、
公共性を基盤にふいた、人とまち、環境にやさしい
交通をゆかい参ります。

ご協力ありがとうございました。